

管路工事完成図作成の手引き

令和3年(2021年)1月

川崎市上下水道局

【 目 次 】

1	適 用	1
2	完成図等の種類と提出部数	1
3	図面の規格寸法	2
4	製図上の基本事項	2
5	図面の構成及び配置	3
6	各種作図について	6
7	縮 尺	10
8	凡 例	11
9	完成図等の管種名称表示	18
10	完成図作成例	19

1 適用

- (1) この手引きは、受注者が川崎市上下水道局に提出する送配水管及び付属設備等を布設または撤去する工事の完成図について基準を定めるものである。
- (2) 作図一般、記号、線の一般的用法、その他この手引きに定めのないものは、JIS Z 8310（製図総則）、土木学会制定「土木製図基準」、日本水道協会制定「上水道施設に関わるCAD製図基準（案）」等、製図関係の規格に準拠するものとする。
- (3) 令和3年4月以降契約する工事に適用する。

2 完成図等の種類と提出部数

- (1) 受注者は、工事完成後速やかに、完成図の原図、複写図面及びA3縮小図面一式をそろえて監督員に提出する。
- (2) 原図は、川崎市電子納品要領に基づき作成したCAD図面とし、電子媒体で提出する。なお、電子媒体の提出部数は水道工事電子納品特記仕様書によることを原則とする。
- (3) 前項により難しい場合の原図は、陽画焼及びスキャナーによる読込みに適する良質なトレーシングペーパー、またはこれと同等以上のものを用いる。
- (4) 複写図面及びA3縮小図面は、紙媒体で提出する。提出部数は、表1で示すほか、監督員の指示によるものとする。
- (5) 複写図面は、標題を表に出しA5判（148mm×210mm）に折りたたみ提出する（図1参照）。
- (6) 複写図面には、受注者の社判及び代表者印を右下裏に押印する。
- (7) A3縮小図面の用紙は、100g/m²以上の良質なものを用いる。

表1 提出部数

種類	提出部数	用途
複写図面	2	事務手続き用
A3縮小図面	1	所管配水工事事務所保管

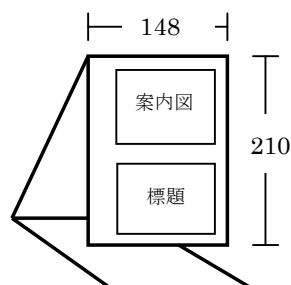


図1 図面の折り方(単位：mm)

3 図面の規格寸法

- (1) 図面の大きさは、JIS P 0138（紙加工仕上寸法）のうち、A 1判及びA 2判の2種類とする。ただし、これによることが困難なときは、A 0判またはA 3判を使用してもよい（表2参照）。
- (2) 図面には輪郭を設ける。輪郭線は実線とし、線の太さは1.4mmを標準とする。
- (3) 輪郭外の余白は、表2に示すものを標準とする。
- (4) 平面図等が規格寸法の大きさで作図できない場合は、分割して作成する。

表2 図面の大きさと余白の幅（単位：mm）

	規格寸法	余白の幅
A 0判	841×1189	28
A 1判	594×841	28
A 2判	420×594	20
A 3判	297×420	20

4 製図上の基本事項

(1) 線の太さ

線の太さは、細線、太線及び極太線の3種類を使用し、比率は細線：太線：極太線＝1：2：4を原則とする。なお、布設管は極太線とする。

(2) 単位

寸法単位は、次のものを除き原則として「mm」とし、単位を記載しない。

ア 布設、撤去及び更生延長は、「m」表示（小数第1位）とし、単位を記載する。

イ オフセット距離は、「m」表示（小数第2位）とし、単位を記載しない。

(2) 工事科目別による作成

ア 図面は、布設工事、撤去工事、付替工事等、工事科目ごとに紙面を別に作成することを原則とする。

イ 標題の記事欄には、当該紙面の工事科目を記載する（図3参照）。

ウ 図面の構成上やむを得ない場合は、複数の工事科目を1枚の紙面に記載することができる。ただし、ひとつの作図（平面図、断面図等）に工事科目が重複しないよう記載するものとする。

エ 図面の綴じ順は、布設工事、付替工事、撤去工事を基本とする。

(例1 工事科目ごとの場合)

記 事	布設工事：案内図、工事内容表、平面図、断面図

記 事	撤去工事：案内図、工事内容表、平面図、断面図

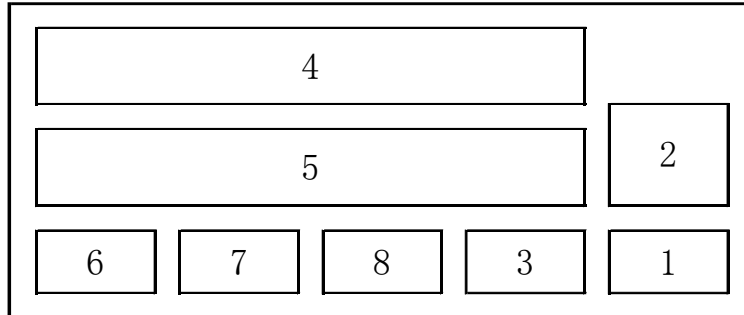
(例2 複数の工事科目を1枚の紙面に記載する場合)

記 事	布設工事：案内図、工事内容表、平面図、配管図、断面図
	撤去工事：案内図、工事内容表、平面図

図3 標題の記事欄の記載例

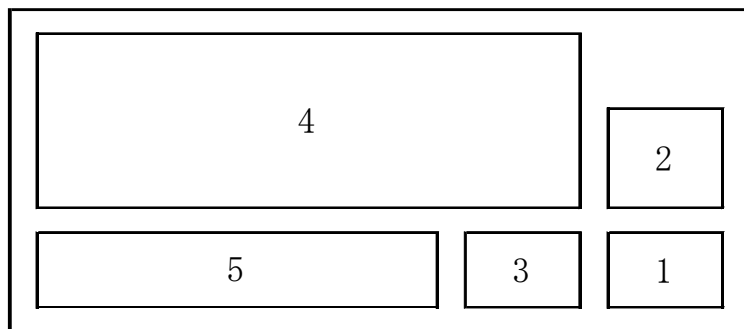
(3) 図面の配置

完成図面は、次の配置を標準とする。



- | | |
|---------|---------------|
| 1 標題 | 5 配管図 |
| 2 案内図 | 6 断面図 |
| 3 工事内容表 | 7 詳細図、オフセット図等 |
| 4 平面図 | 8 舗装構成図 |

図4 布設工事の完成図面の標準配置



- | | |
|---------|-------|
| 1 標題 | 4 平面図 |
| 2 案内図 | 5 凡例 |
| 3 工事内容表 | |

図5 付替工事の完成図面の標準配置

6 各種作図について

(1) 布設工事

ア 案内図

内容は設計図面と同一とするが、これにより難しい場合は次によること。

- (ア) 縮尺は1/5, 000とする。
- (イ) 方位は図面の上側を北とする。
- (ウ) 「水道配管図 1:5000」の図番(ページ番号)を、枠外上段に記載する。
- (エ) 「水道配管図 1:5000」記載の図郭線(メッシュ線)並びに図面名称(メッシュ名及び番号、例:川崎59)とともに、町丁名、地番(住居番号)、主要な施設、鉄道、道路、河川、その他目標となるものを記載する。
- (オ) 工事箇所は、引き出し線を用いた旗上げにより明示し、工事箇所が複数ある場合は工区番号も記載する。

イ 工事内容表

工事の施工内容を、以下の点に留意して記載する(表3参照)。

- (ア) 記載順及び内容は、設計書の工事概要に準ずる。
- (イ) 管類の名称は、「9 完成図等の管種名称表示」に準ずる。
- (ウ) 管類(布設延長等)の単位は「m」とする。
- (エ) 弁類(仕切弁、空気弁等)の単位は「基」とする。
- (オ) 栓類(消火栓等)の単位は「箇」とする。
- (カ) 排水設備等の単位は「式」とし、内訳を記載する。
- (キ) 既設管の撤去材を再使用した場合は、名称欄に括弧書で「再使用」と記載する。

表3 工事内容表及び記載例

名称	口径	単位	延長又は数量
ダクGXpe	200	m	199.3
ダクKpe	200	m	1.9
ソフトシール仕切弁	200	基	2.0
単口消火栓	75	箇	2.0
ダクGXpe	100	m	882.2
ダクKpe	100	m	14.9
ソフトシール仕切弁	100	基	20.0
排水弁	75	〃	1.0
単口消火栓	75	箇	7.0
排水設備 設置		式	1.0
(内訳) 排水管	75	m	3.9
仕切弁	75	基	1.0

7mm

40mm 20mm 10mm 30mm

ウ 平面図

- (ア) 縮尺は、1 / 500とする。
- (イ) 方位は、図面の上側が北であることを基本とする。ただし、やむを得ない場合は上側を基準に左右90°以内の方向を北とし、必ず方位を明示する。
- (ウ) 地形の記載は次のとおりとする。
 - a 地形は、最新の道水路台帳平面図に基づき記載する。
 - b 私道の場合は、道水路台帳平面図に記載の隣接道路との接合に十分留意し、設計図等の平面測量図に基づき記載する。
- (エ) 管路及び弁栓類等は、「8 凡例(1)平面図」に従い記載する。ただし、特殊消火栓等、弁栓類の位置が管中心線と異なる場合は、別途断面図を作成する。
- (オ) 地形、管路のほか管種、寸法、布設延長(実測水平延長)、布設位置及び付属設備の位置等を記載する。また、道路の区別(国道・県道)、名称、舗装種別、河川名称(流水方向含む)、町丁名、地番(住居番号)、主要な施設、鉄道、その他必要な事項を記載する。
- (カ) 更生工事等の場合は、旗上げにより工事箇所を具体的に明示し、工事の始点と終点のオフセットがわかるようにすること。なお、必要に応じて別途拡大図を併記すること。

エ 配管図

- (ア) 工事始点から終点までの配管状態を、「8 凡例(2)配管図」に従い記載し、使用品名、管種、口径、数量及び異形管の使用状態等を旗上げにより明示する。ただし、管種については、ダクタイルGX形または鋼管の場合のみ明示を省略することができる。また、既設管の撤去材を再使用する場合は、「再使用」と旗上げにより明示する。
- (イ) 管製作及び現場接合工事(以下「製管接合工事」という。)については、配管に使用した材料の名称、数量、形状寸法及び摘要を内容とする材料内訳表を作成する。ただし、土木工事に管路材料を含んだ工事(業持ち工事)についてはこの限りでない。
- (ウ) 製管接合工事については、旗上げまたは記号を用いて接合形式を記載する。なお、記号はJIS Z 3021(溶接記号)に準ずるものとし、それ以外の記号を用いる場合は、必ず凡例を記載する。

オ 断面図

(ア) 縮尺は、1 / 50とする。

(イ) 水道管及び他企業の埋設管についての名称、形状寸法、占用位置、土被り等を、路線ごとに1箇所以上記載する。

(ウ) 内容は設計図面と同一とするが、布設工事と撤去工事とは別に作成し、施工または調査等により採取したデータについては、その現況を反映すること。

カ オフセット図

別冊「オフセット図作成基準」による。

キ 舗装構成図

(ア) 縮尺は1 / 30以上とする。

(イ) 復旧道路構造について、その材質、寸法等を表示する。

(ウ) 施工が仮復旧までのときは仮舗装構成図とし、本復旧を行う企業者名を記載する。

ク 製作図

(ア) 製作管の形状寸法、塗装仕様、付属設備、切管位置等の詳細な図面を作成する。また、製作管、切断工、接合工等の数量一覧表を作成し、名称、形状寸法、数量及び摘要を記載する。

(イ) その他、局監督員の指示により記載する。

ケ 縦断図

(ア) 口径 500mm以上の布設工事の場合は、原則として作成する。

(イ) 縮尺は縦1 / 100、横1 / 500とする。

(ウ) 布設管路の地形の断面図に、管及び付属設備等の縦断状態を記載する。

(エ) 記載する事項は、測点、区間距離、追加距離、地盤高、土被り、管勾配等である。

コ 詳細図

管または付属設備（仕切弁、消火栓、空気弁、排水弁及び室）の防護、その他の部分の詳細を記載する。

サ 配筋図

構造物の配筋状態を記載する。

シ 仮設図

特殊工事において、監督員の指示がある場合のみ記載する。

ス 側面図

伏越工、上越工、添架工、さや管、推進工、軌道下横断、水管橋等については、管及び付属設備の位置、形状寸法等を記載する。

(2) 付替工事

「(1) 布設工事」に準ずるほか、次によること。

ア 平面図

平面図には、次の内容を記載する。なお、必要に応じて別途拡大図を併記すること。

(ア) 付替給水管 (付替範囲を明示)

(イ) 使用者名 (幹線の場合は所有者名)

(ウ) 水栓番号 (幹線の場合は幹線番号)

(エ) 口径・管種 (付替給水管及び接続する既設給水管について記載)

a 接続する既設管は、付替給水管の下方に括弧書きで記載する。なお、第1止水栓まで施工した場合は、接続する既設給水管の記載を省略することができる。

b 口径変更を行った場合は、変更状況がわかるように明記する。

(例：40⇒50)

(オ) 凡例

(カ) その他

a 分水止及びT字取外しを施工した場合は、工事箇所を明示し、使用者名、水栓番号及び口径を記載する。

b メーターが複数ある戸建住宅において付帯工事 (メーター移設) を施工した場合は、双方の使用者名及び水栓番号と、取出し管種及び口径を記載する。

イ 工事内容表

工事内容表には、名称、形状寸法、単位、数量及び摘要を記載する。

(3) 撤去工事

「(1) 布設工事」に準ずるほか、次によること。

ア 平面図

(ア) 残置管及び残置物は、旗上げにより残置箇所を具体的に明示し、「(残置)」と記載するとともに、残置管の始点と終点のオフセットがわかるようにすること。なお、必要に応じて別途拡大図を併記すること。

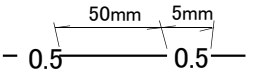
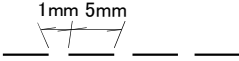
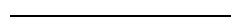
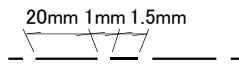
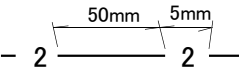
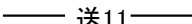
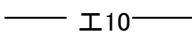
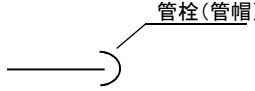



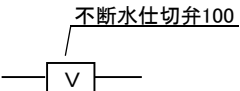
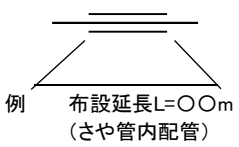
(イ) 既存の残置管を撤去する場合は、旗上げによる明示の際に、管種の後に「(残置管)」と記載すること。


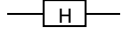



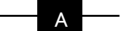







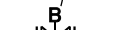


7 縮 尺

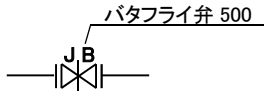
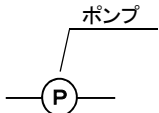
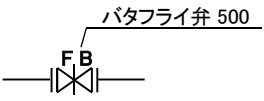
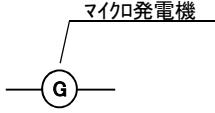
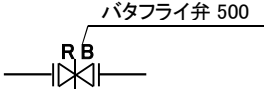

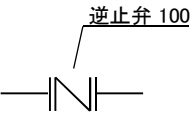
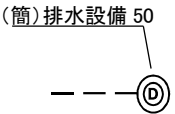
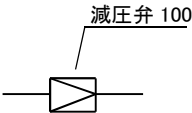
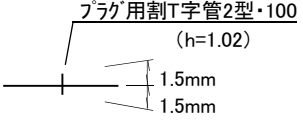
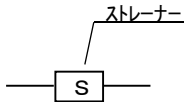
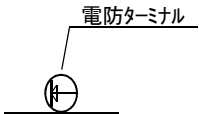
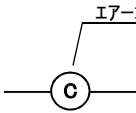
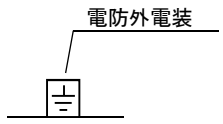
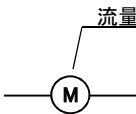
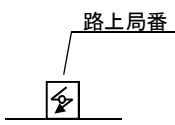
- (1) 縮尺は原則として「6 各種作図について」に定める基準によるものとし、特に定めのない図面については、監督員の指示によるものとする。
- (2) 図面ごとに、その縮尺を記載すること。なお、図面内に複数の縮尺が混在する場合は、表題に記載する縮尺は「図示」とし、各々の作図ごとに縮尺を記載するものとする。

8 凡 例

(1) 平面図

名 称	記 号	名 称	記 号
50mm配水管		工水マンホール	Ⓔ
75mm配水管		下水マンホール	Ⓕ
100mm配水管		電力マンホール	Ⓖ
150mm配水管		電話マンホール	Ⓗ
200mm以上配水管		ガスマンホール	Ⓖ
	<p>※それぞれの口径を記入する</p> <p>例: 250mm → 2.5</p> <p>300mm → 3</p> <p>1000mm → 10</p>	電 柱	○
送水管(既設)			
工業用水管(既設)			
管 栓 (管 帽)			
既設仕切弁			
既設逆止弁			
電動弁			
不断水仕切弁			
さや管			

名称	記号	名称	記号
単口消火栓	単消 75 単消うず 75 単消F曲 75 	排水弁	排水弁 75 排水弁うず 75 排水弁F曲 75 
注) 平面図の旗上げにおける名称については、単口消火栓のように記載するほか、上図のように省略して記載してもよい。			
空気単口消火栓	空気単消 75 空気単消うず 75 空気単消F曲 75 	急速空気弁	急空弁 75 
双口消火栓	双消 100 双消うず 100 	給水口付急速空気弁	給水付急空弁 100 
地上式双口消火栓	地上双消 100 	不凍急速空気弁	不凍急空弁 25 
単口空気弁	単空弁 25 	仕切弁 (フランジ)	仕切弁 100 ソフトシル仕切弁 100 リクライニング仕切弁 300 
双口空気弁	双空弁 100 	仕切弁 (一体型)	ソフトシル仕切弁 100 
球形消火栓付 双口空気弁	球消付双空弁 100 	標準バタフライ弁 (フランジ)	バタフライ弁 500 
多排空気弁	多空弁 75 多空弁うず 75 多空弁F曲 75 	標準バタフライ弁 (一体型)	バタフライ弁 500 

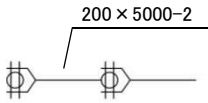
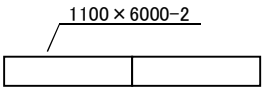
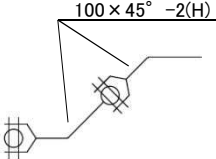
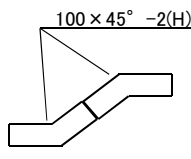
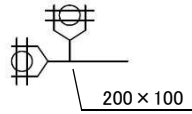
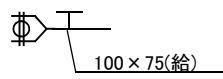
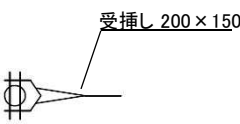

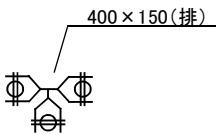
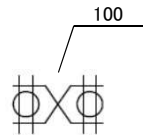
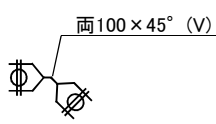
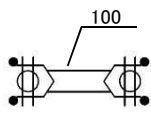
名称	記号	名称	記号
充水機能付 バタフライ弁 (フランジ)		ポンプ	
副弁内蔵型 バタフライ弁 (フランジ)		マイクロ発電機	
流量調整機能付 バタフライ弁 (フランジ)		排水設備	
逆止弁		簡易排水設備	
減圧弁		インサートプラグ (ハルブ)	 <small>注) プラグ用割T字管の土被りを明記する。</small>
ストレーナー		電防ターミナル	
エアークック		電防外電装置	
流量計		路上盤	

(2) 配管図

ア 継手形状

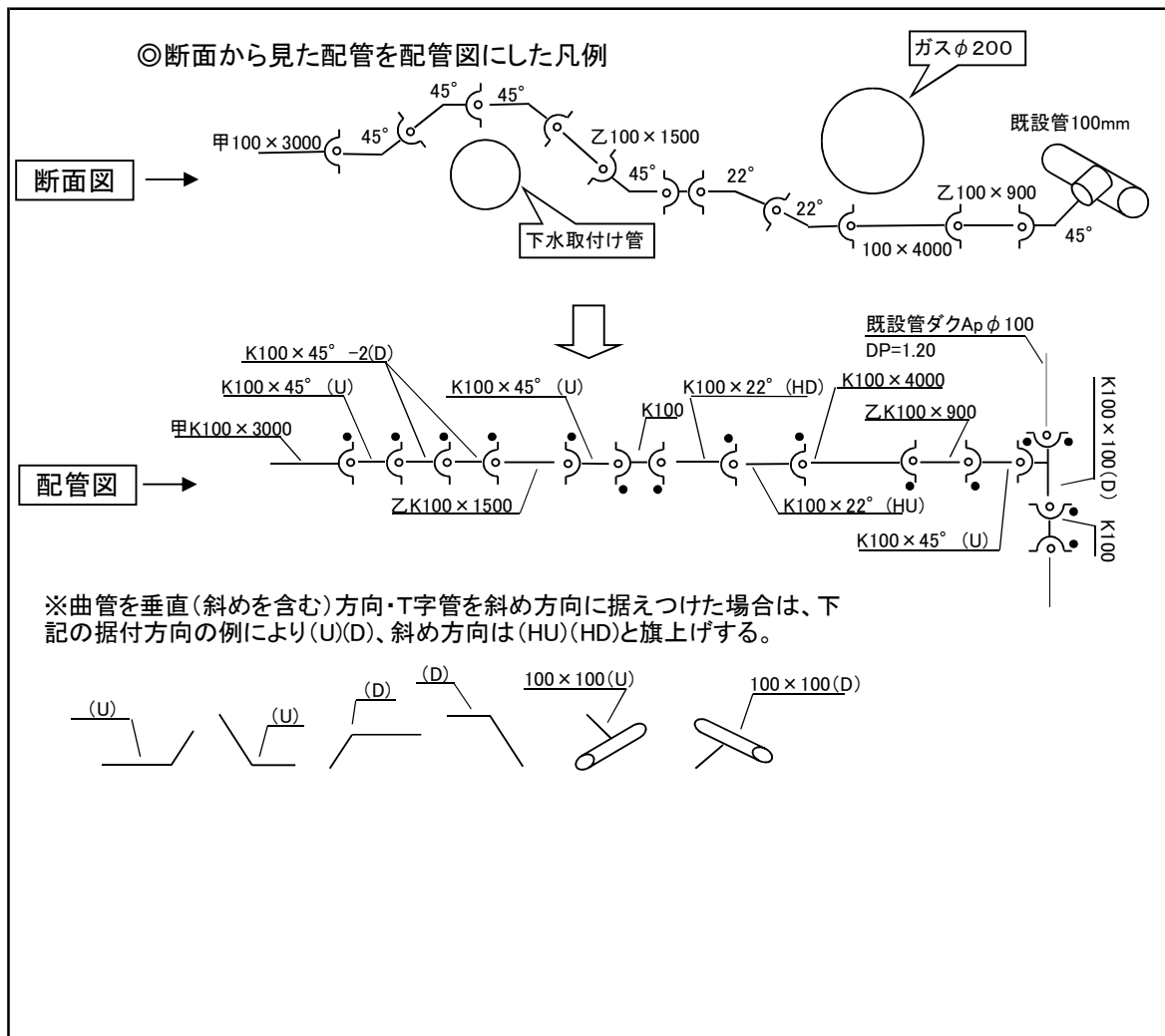
GX形継手		NS形継手		K形継手		S II 形継手	
GX形継手 (ライナ入り)		NS形継手 (ライナ入り)		K形継手 (特殊押輪)		S II 形継手 (ライナ入り)	
GX形継手 (G-Link)		NS形継手 (特殊押輪)		A形継手		PN形継手	
GX形継手 (P-Link)		S50形継手		S50形継手 (ライナ)		S50形継手 (抜け止め押輪)	
K形継手 (耐震形)							

イ 記号

名称	記号	名称	記号
直管			
継手方式のもの (ダクタイル鋳鉄管等)		継手方式でないもの (鋼管・SUS管等)	
注1) 旗上げにおける管種については、GX(GX形)・NS(NS形)・鋼(鋼管)・K(K形)・SII(SII形)・SUS(SUS管)のように記載する。			
注2) 継手方式によるものは、アの継手形状を組み合わせる。			
曲管			
継手方式のもの (ダクタイル鋳鉄管等)		継手方式でないもの (鋼管・SUS管等)	
注1) H=水平に配管した場合(土被りに変更を生じない)。上下に配管する場合(土被りに変更を生じる)は、「ウ 特殊配管例」による。			
注2) 22° 1/2 = 22°、11° 1/4 = 11°、5° 5/8 = 5° として記載する。			
注3) 継手方式によるものは、アの継手形状を組み合わせる。			
二受T字管		フランジ付T字管	
注) 給水用であれば、(給)と記載する。			
受挿し片落管		挿し受片落管	
排水T字管		両受短管	
両受曲管		継輪 (G-Link 使用)	

名称	記号	名称	記号
ソフトシール仕切弁 GX形(両受)	ソフトシール仕切弁(両受)200 	仕切弁	仕切弁150 仕切弁150、1号K150、1号K150
ソフトシール仕切弁 GX形(受挿し)	ソフトシール仕切弁(受挿)300 	仕切弁の前後に短管1号・2号 を取り付ける標準な場合。	仕切弁の前後が標準以外の 場合。
弁栓類 (仕切弁を除く)	単消 補修弁75、短管100 	短管1号 (NS形)	1号NS150
弁栓類 (GX形フランジ付曲管)	単消 補修弁75、短管100 	短管2号 (NS形)	2号NS150
注1) 弁栓類の各記号は、(1)平面図を参照すること。 注2) 補修弁は、口径、数量を明記する。 注3) フランジ短管は、高さ、数量を明記する。 注4) うず巻式フランジ付きT字管の場合は、「単消うず」のように 記載すること。		片錨短管(溶接取出)	鋼F短管200
簡易仕切弁付割T字管 (既設管:非耐震管)	仕切弁付割T字管 200×100 	栓 (K形)	K100
簡易仕切弁付割T字管 (既設管:耐震管)	仕切弁付割T字管(耐) 200×100 	継 (K形) 輪	K100
帽 (GX形)	200 	フランジ継手補強金具	
継輪 (NS形特殊押輪使用)	NS100 		

ウ 特殊配管例



9 完成図等の管種名称表示

※管種の表示に継ぎ手形式、ポリスリーブ巻、内面・外面塗装等を加えるものである。

表示名称	表	示	内	容
1 ダクKpe	(ダクタイルK形	ポリスリーブ巻	内面エポキシ	粉末体塗装)
2 ダクKp	(ダクタイルK形	ポリスリーブ巻	内面エポキシ	粉末体塗装)
3 ダクK	(ダクタイルK形	ポリスリーブ巻なし	内面エポキシ	粉末体塗装)
4 ダクApe	(ダクタイルA形	ポリスリーブ巻	内面エポキシ	粉末体塗装)
5 ダクAp	(ダクタイルA形	ポリスリーブ巻	内面エポキシ	粉末体塗装)
6 ダクA	(ダクタイルA形	ポリスリーブ巻なし	内面エポキシ	粉末体塗装)
7 ダクTp	(ダクタイルT形	ポリスリーブ巻	内面エポキシ	粉末体塗装)
8 ダクT	(ダクタイルT形	ポリスリーブ巻なし	内面エポキシ	粉末体塗装)
9 ダクKF	(ダクタイルKF形	ポリスリーブ巻なし	内面エポキシ	粉末体塗装)
10 ダクUFp	(ダクタイルUF形	ポリスリーブ巻	内面エポキシ	粉末体塗装)
11 ダクSⅡpe	(ダクタイルSⅡ形	ポリスリーブ巻	内面エポキシ	粉末体塗装)
12 ダクSⅡp	(ダクタイルSⅡ形	ポリスリーブ巻	内面エポキシ	粉末体塗装)
13 ダクSⅡ	(ダクタイルSⅡ形	ポリスリーブ巻なし	内面エポキシ	粉末体塗装)
14 ダクSp	(ダクタイルS形	ポリスリーブ巻	内面エポキシ	粉末体塗装)
15 ダクNSpe	(ダクタイルNS形	ポリスリーブ巻	内面エポキシ	粉末体塗装)
16 ダクNSp	(ダクタイルNS形	ポリスリーブ巻	内面エポキシ	粉末体塗装)
17 ダクGXpe	(ダクタイルGX形	ポリスリーブ巻	内面エポキシ	粉末体塗装)
18 ダクPN	(ダクタイルPN形	ポリスリーブ巻なし	内面エポキシ	粉末体塗装)
19 ダクPNe	(ダクタイルPN形	ポリスリーブ巻なし	内面エポキシ	粉末体塗装)
20 ダクS50pe	(ダクタイルS50形	ポリスリーブ巻	内面エポキシ	粉末体塗装)
21 鋳メカ				
22 鋳インロー				
23 鋼管u	(鋼管溶接継手	外面ポリウレタン		塗装)
24 鋼管T	(鋼管溶接継手	外面防食テープ		塗装)
25 鋼管	(鋼管溶接継手	外面その他		塗装)
26 鋼管P継手	(鋼管P形継手	外面その他		塗装)
27 鋼管メカ	(鋼管	外面その他		塗装)
28 鋼管インロー				
29 RC鋼管	(鋼管溶接継手	内面鉄筋コンクリート		外面その他塗装)
30 SUS304u	(ステンレス304鋼	鋼管外面ポリウレタン		塗装)
31 SUS304T	(ステンレス304鋼	鋼管外面防食テープ		覆装)
32 SUS304	(ステンレス304鋼	鋼管外面無		塗装)
33 SUS316u	(ステンレス316鋼	鋼管外面ポリウレタン		塗装)
34 SUS316T	(ステンレス316鋼	鋼管外面防食テープ		覆装)
35 SUS316	(ステンレス316鋼	鋼管外面無		塗装)
36 コンクリート				
37 ヒューム管				
38 セグメント				
39 ポリスUS	(水道用複合ポリエチレン管	- ステンレス)		
40 ポリス	(水道用複合ポリエチレン管	- スチール)		
41 ポリAL	(多層バリアパイプ	- アルミニウム)		
42 ポリNL	(多層バリアパイプ	- ナイロン)		
43 VP				
44 不明(撤去工の図面で使用可)				
45 ダク(1~19の撤去工の図面で使用可)				
46 鋳鉄(21~22の撤去工の図面で使用可)				
47 鋼管(23~28の撤去工の図面で使用可)				

10 完成図作成例

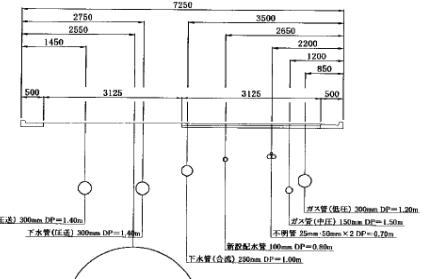
6 (1) 布設工事

ウ 平面図

平面図① S=1/500

オ 平面図

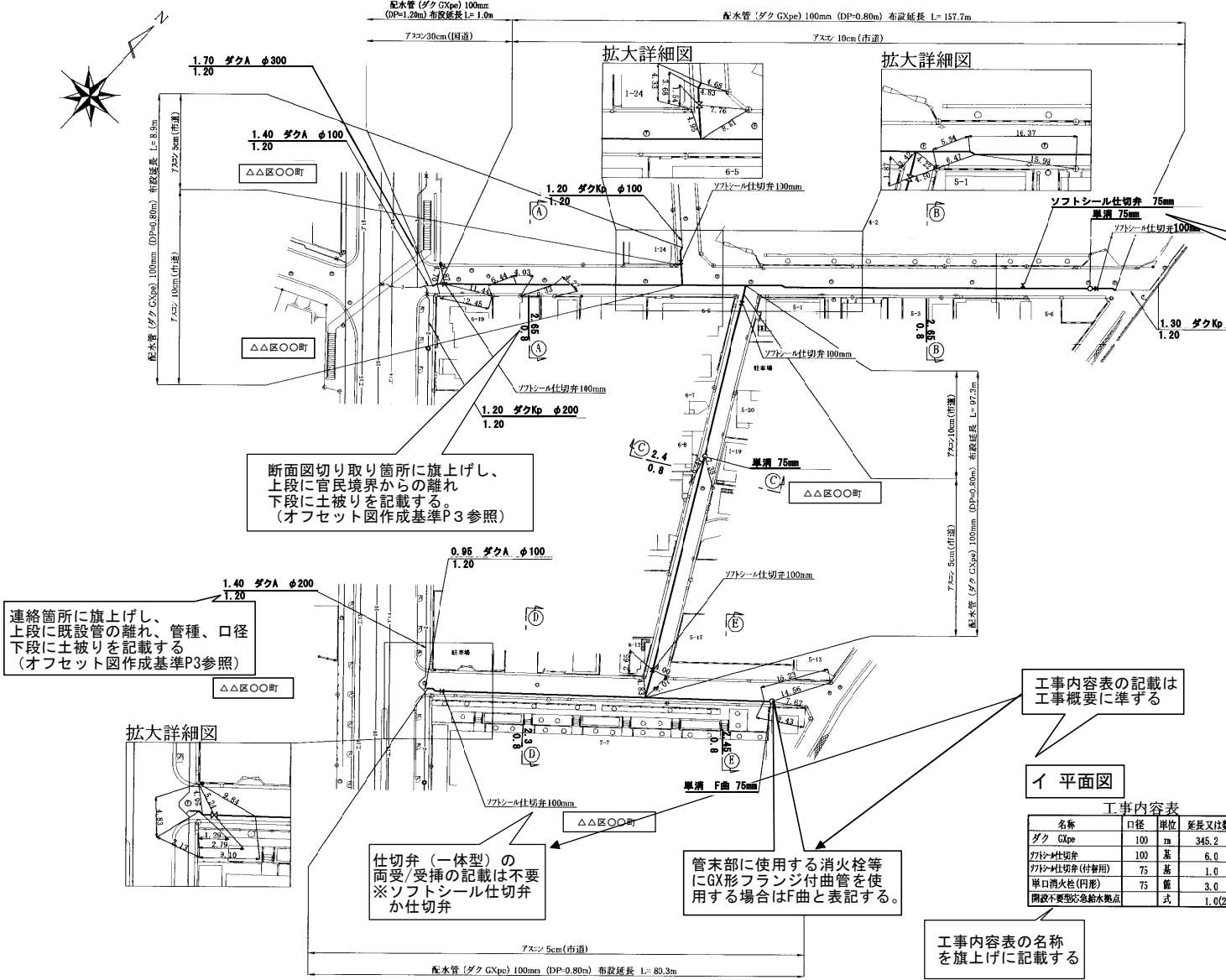
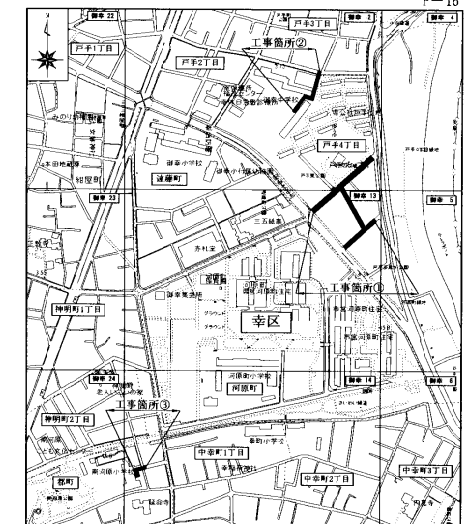
①-①断面図 S=1/50



消火栓等はフランジ口径を記載 (円形) 等の記載は不要

ア 案内図 (位置図)

案内図 縮尺=1/5000



断面図切り取り箇所に旗上げし、上段に官民境界からの離れ、下段に土被りを記載する。(オフセット図作成基準P3参照)

連絡箇所に旗上げし、上段に既設管の離れ、管種、口径、下段に土被りを記載する。(オフセット図作成基準P3参照)

工事内容表の記載は工事概要に準ずる

イ 平面図

工事内容表

名称	口径	単位	延長又は数量
ダク GXpe	100	m	345.2
ソフト仕切弁	100	基	6.0
ソフト仕切弁 (付帯用)	75	基	1.0
単口消火栓 (円形)	75	管	3.0
開栓不要型緊急給水拠点		式	1.0 (2箇所)

仕切弁 (一体型) の両受/受挿の記載は不要 ※ソフトシール仕切弁か仕切弁

管末部に使用する消火栓等にGX形フランジ付曲管を使用する場合はF曲と表記する。

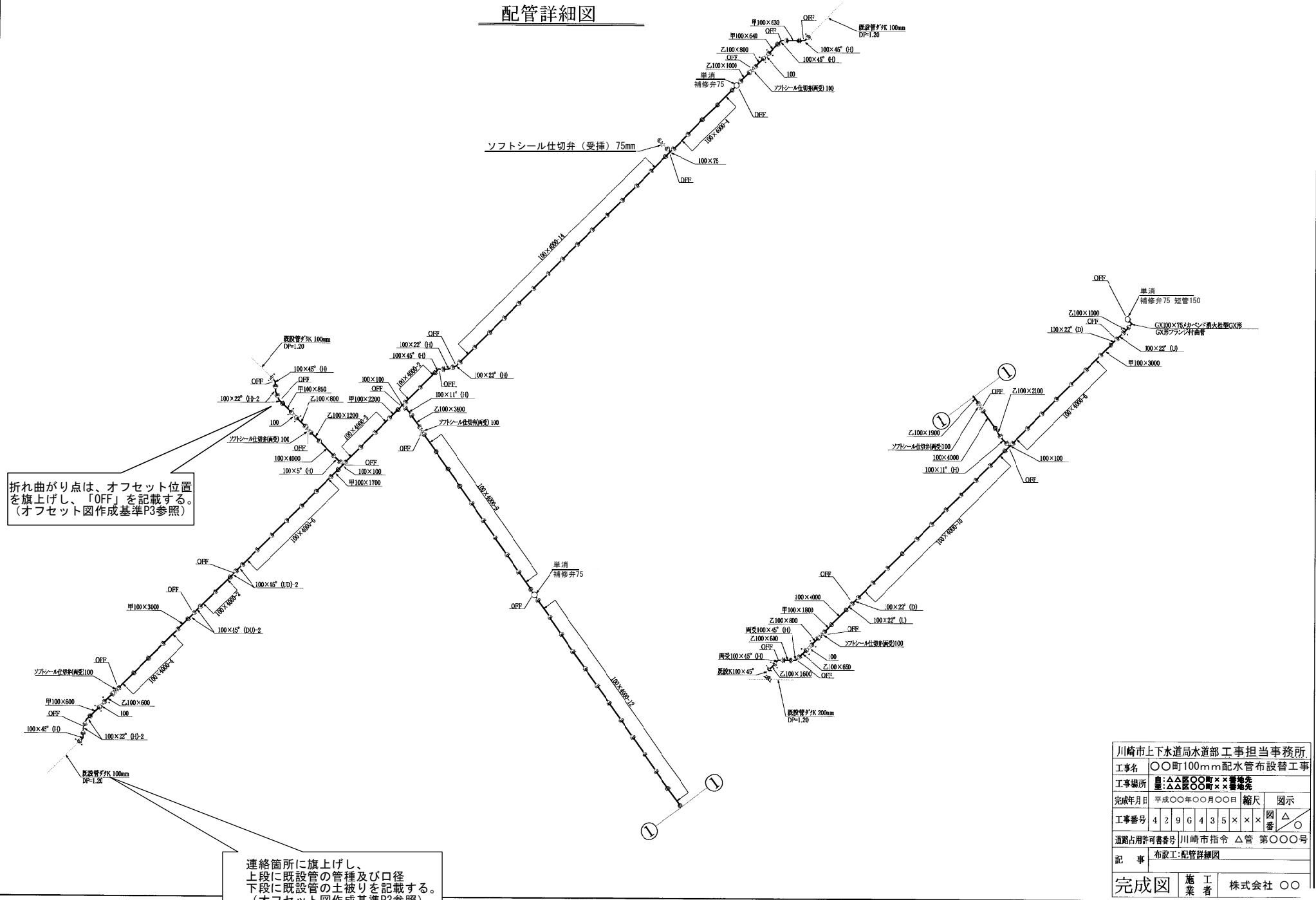
工事内容表の名称を旗上げに記載する

注) 1. 管布設工の埋戻は、床下より山砂。管撤去工の埋戻は、床下より再生砂 (RC-10) を使用。
2. 管明示シートはエコマーク認定品 (幅400mm) を使用し、管体から300mm上部に設置。

ア (1) 標題

川崎市上下水道局水道部 工事担当事務所
 工事名 ○〇町100mm配水管布設替工事
 工事場所 自:△△区〇〇町××番地先 至:△△区〇〇町××番地先
 完成年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日 縮尺 図示
 工事番号 4 2 9 G 4 3 5 × × 図 △
 道路占用許可書番号 川崎市指令△管 第〇〇〇号
 記事 布設工:位置図-平面図-オフセット図
 工事内容表
 完成図 施 工 者 株式会社 ○〇

配管詳細図



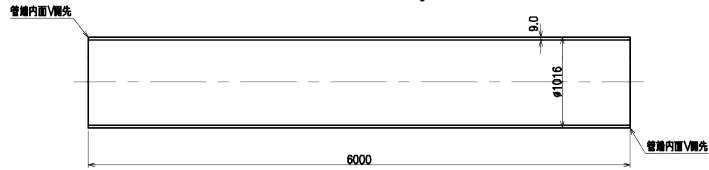
折れ曲がり点は、オフセット位置を旗上げし、「OFF」を記載する。
(オフセット図作成基準P3参照)

連絡箇所には旗上げし、上段に既設管の管種及び口径、下段に既設管の土被りを記載する。
(オフセット図作成基準P3参照)

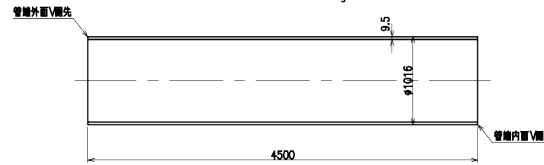
川崎市上下水道局水道部 工事担当事務所			
工事名	〇〇町100mm配水管布設替工事		
工事場所	自:△△区〇〇町××番地先 差:△△区〇〇町××番地先		
完成年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	縮尺	図示
工事番号	4 2 9 G 4 3 5 × × ×	図番	△
道路占用許可書番号	川崎市指令 △管 第〇〇〇号		
記事	布設工:配管詳細図		
完成図	施工者	株式会社 〇〇	

ク 製作図 (鋼管)

直管 (A1) ~ (A4)
1000A×9×6000 (STW400)
製作数 4本
1本当たり重量 1338 kg



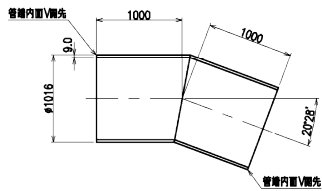
直管 (A5)
1000A×9.5×4500 (STW400)
製作数 1本
1本当たり重量 1062 kg



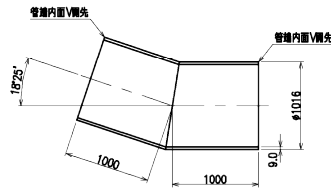
切管
1000A×9.5×L1 (STW400)



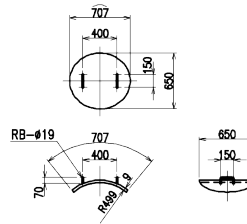
20°28' 曲管 (A11)
1000A×9×2000 (STW400)
製作数 1本
1本当たり重量 446 kg



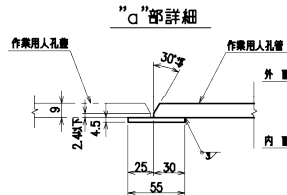
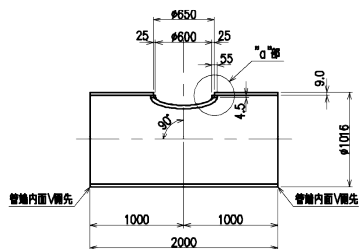
18°25' 曲管 (A12)
1000A×9×2000 (STW400)
製作数 1本
1本当たり重量 446 kg



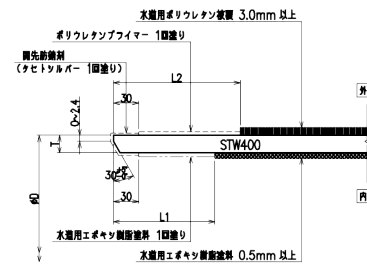
作業用人孔蓋 (A13)
1000A×φ600用×9 (SS400)
製作数 1個
1本当たり重量 26.7 kg



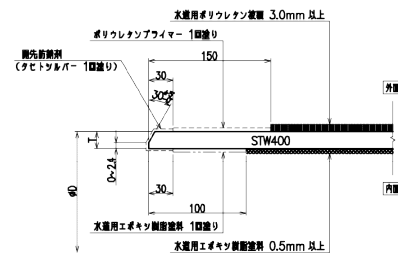
作業用人孔管 (A14)
1000A×φ600×2000 (STW400)
製作数 1本
1本当たり重量 424.6 kg



管端開先及び塗装仕様詳細図
管端内面V開先



管端開先及び塗装仕様詳細図
管端外面V開先



L1	L2	L3	製作数	重量	管番号
5000	4500	500	1	1180.0	(A6)
3900	3750	150	1	920.4	(A7)
1800	1495	305	1	424.8	(A8)
1900	1685	215	1	448.4	(A9)
1800	1630	170	1	424.8	(A10)

製作材料一覧表

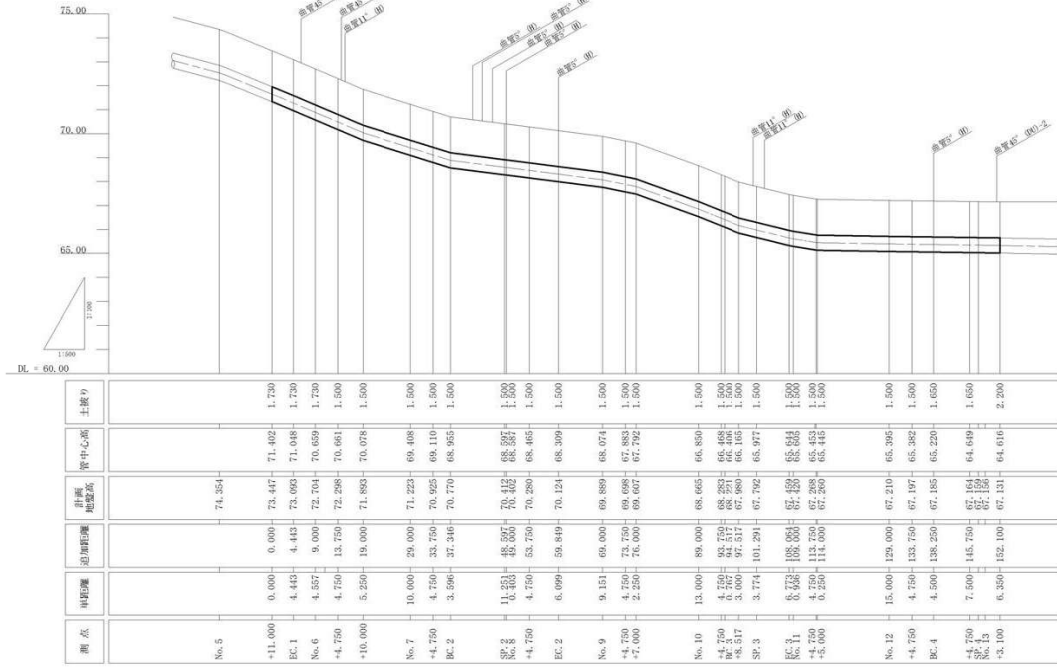
名称	形状	寸法	単位	数量
直管	t=9.0mm	1000A×6,000m	本	4.00
直管	t=9.5mm	1000A×4,500m	本	1.00
直管	t=9.5mm	1000A×5,000m	本	1.00
直管	t=9.5mm	1000A×3,900m	本	1.00
短管	t=9.5mm	1000A×1,800m	本	1.00
短管	t=9.5mm	1000A×1,900m	本	1.00
短管	t=9.5mm	1000A×1,800m	本	1.00
曲管	t=9.0mm L=2,000m	1000A×20°28'	個	1.00
曲管	t=9.0mm L=2,000m	1000A×18°25'	個	1.00
人孔蓋	t=9.0mm	1000A×φ600	個	1.00
人孔管	t=9.0mm L=2,000m	1000A×φ600	個	1.00

	D (mm)	T (mm)	L1 (mm)	L2 (mm)
1000A	1016.0	9.0	100	150
1000A	1016.0	9.5	100	150

ケ 縦断面

縦断面図

V=1/100
H=1/500

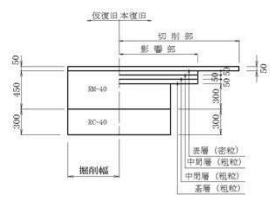


キ 舗装構成図

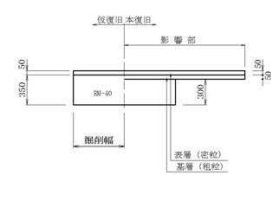
舗装構成図 (S:1/30)

- 注) 1. アスコン舗装は、再生アスコンを使用。但し、透水性舗装(歩道)の表層は、新材を使用。
- 2. 本復旧は現況に復旧。
- 3. 復旧については路盤先行で施工。

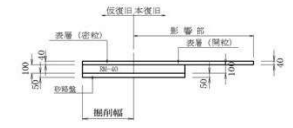
アスコン20cm(市道)



アスコン10cm(市道)



透水性舗装(歩道)



アスコン5cm(市道)

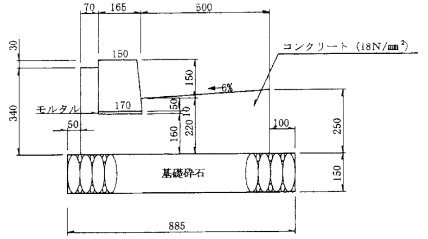


注 本復旧は下水道部にて施工。

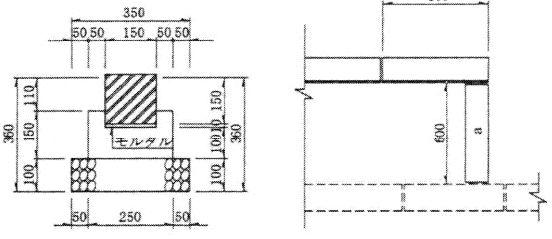
コ 詳細図

植樹帯ブロックD S=1/20

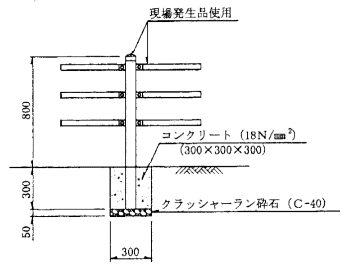
街渠取壊復旧 S=1/10



S=1/10



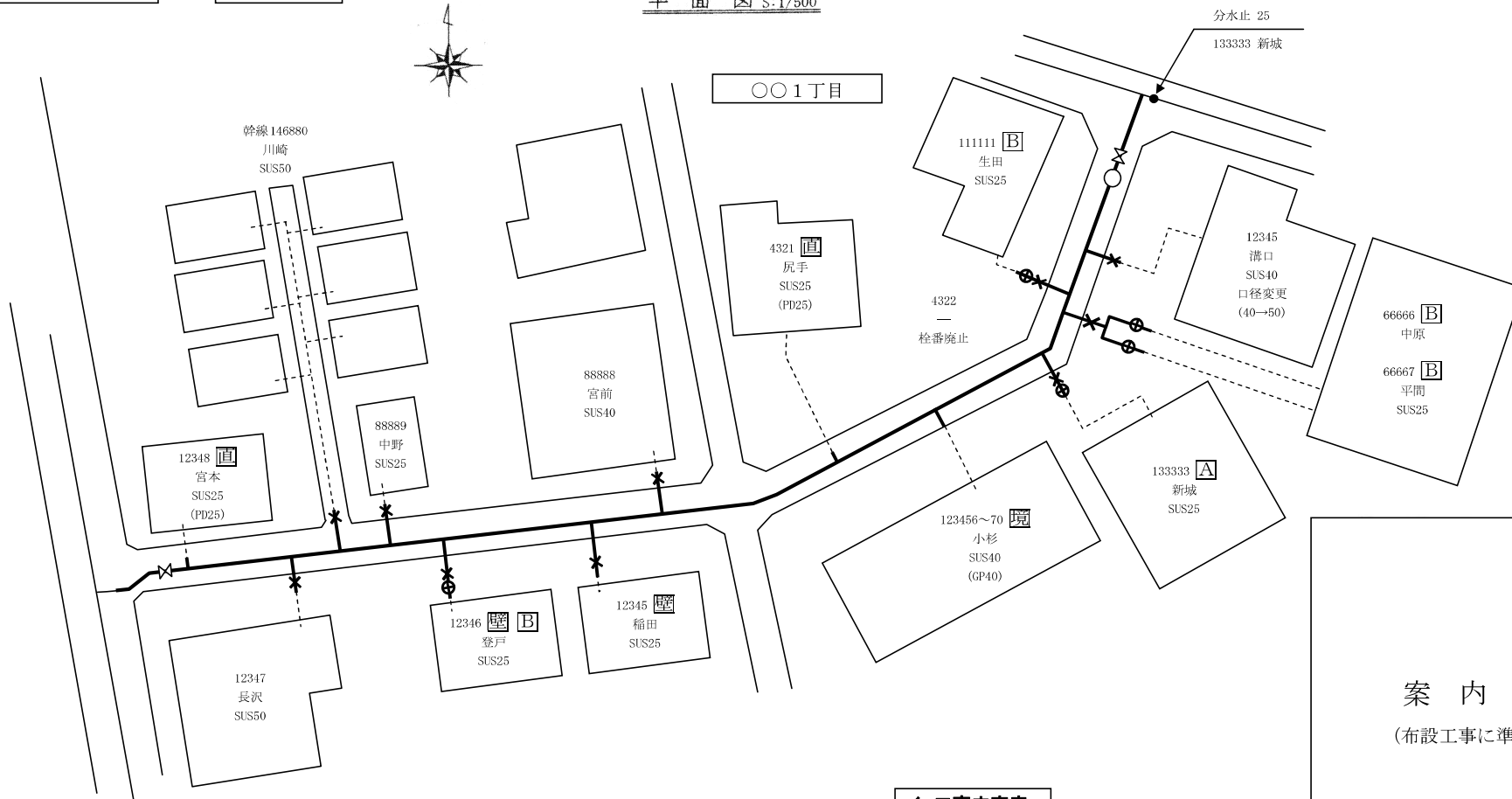
ガードパイプ 取外し復旧図 S=1/20



6 (2) 付替工事

ア 平面図

平面図 S:1/500

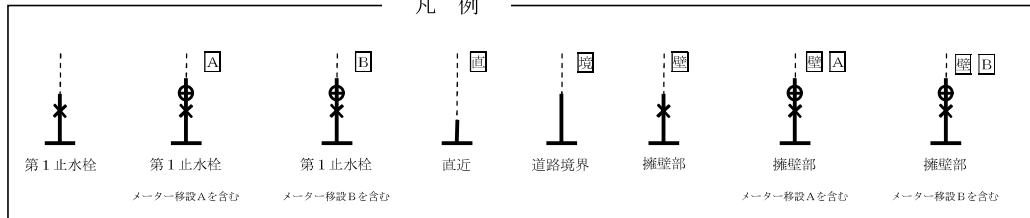


案内図
(布設工事に準ずる)

イ 工事内容表

工事内容表				
名称	形状寸法	単位	数量	摘要
分水栓	100×25	箇所	6.0	第1止水栓
分水栓	100×25	箇所	2.0	直近
分水栓	100×40	箇所	2.0	第1止水栓
分水栓	100×40	箇所	1.0	道路境界
分水栓	100×50	箇所	2.0	第1止水栓
メーター移設	25A	箇所	1.0	
メーター移設	25B	箇所	4.0	
分水止	25	箇所	1.0	Ac15cm未満
擁壁部	25	箇所	2.0	

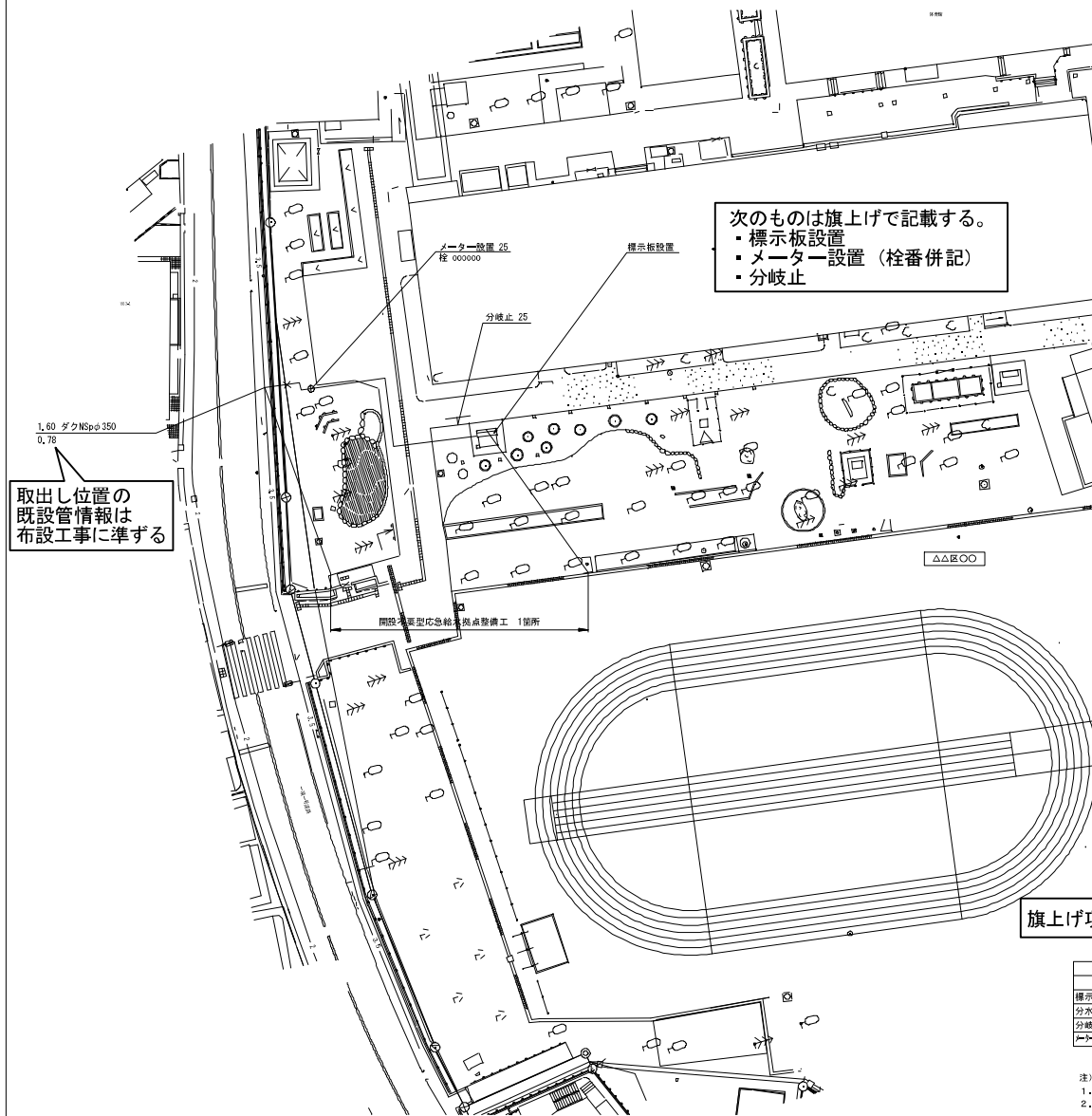
凡例



標題
(布設工事に準ずる)



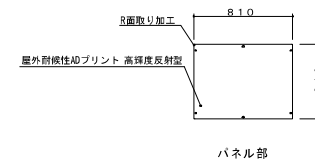
〇〇小学校



取出し位置の既設管情報は布設工事に準ずる

次のものは旗上げで記載する。
 ・標示板設置
 ・メーター設置（栓番併記）
 ・分岐止

開設不要型緊急給水拠点 標示板 縮尺=1/20

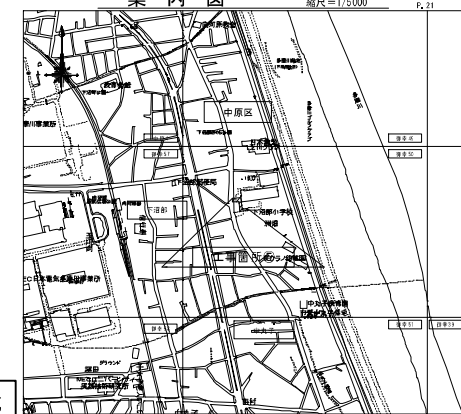


旗上げ項目に加え、取り出しの分水栓を記載

工事内容表			
名称	形状寸法	数量	単位
標示板設置		1	箇所
分水栓	350mm×25mm	1	箇所
分岐止	25mm	1	箇所
メーター設置	メ-1設置25	1	箇所

注) 学校敷地内の施工については、以下の通り。
 1. 資材埋戻しは稗付けより養生土にて行い、不足分は山砂を使用。
 2. 本工事とは関係した陥没を状況にて復旧。また、仮復旧については製空地盤高までを砕石にて施工。
 3. 給水管の土埋りは0.50m。

案内図 縮尺=1/5,000



川崎市上下水道局水道部 第〇配水工事事務所			
工事名	〇〇3丁目100mm~50mm配水管布設替工事		
工事場所	自: △△区〇〇3丁目41-44番地先 至: △△区〇〇3丁目53-1番地先 (ほか4件)		
完成年月日	平成 27 年 3 月 27 日	図示	
工事番号	426C435XX	図示	□/○
道路占用許可番号	川崎市指令 △管 第 000000 号		
記事	布設工事: 開設不要型緊急給水拠点整備工 案内図・平面図・工事内容表・詳細図		
完成図	施工業者	株式会社 〇〇土木	